

各常任委員会の報告

総務委員会

◆秩父市辺地に係る総合整備計画を定めることについて

問 小型ポンプ付積載車の購入事業があるが、誰が運転・操作をするのか。

答 各辺地の消防団員と緊急時の対応可能人数は、室久保・白岩辺地は団員数14人・対応可能団員9人、小川辺地（明ヶ平辺地が同部隊）で団員数11人・対応可能団員5人、中郷辺地・沢戸・半納辺地・漆木辺地が同部隊で団員数27人・対応可能団員15人である。

◆秩父市過疎地域自立促進計画を定めることについて

問 「今後、旧大滝村地域をどの様にすべきか、この6年間で実施すべきもの、実施可能な事業をこの計画に盛り込み、着実に実現する事が、必要と考えている」とあるが、優先順位は必要ないのでは。

答 有利な過疎債を財源に充てることを念頭においているが、事業を全部実施出来る枠がないと思われるので、全部必要ではあるが、とりわけ必要なものから実施していく。

問 移動通信用鉄塔施設整備事業とあるが、これで大滝のほとんどの所が、携帯電話が使えるようになるのか。

答 新設の場所は小倉沢地区である。人の住んでいる集落の不感地域は大血川の太陽寺付近を除いて解消される。

◆埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算（第3回）所管費目

問 雑入の物件移転補償料とは。

答 荒川地区柴原地内で、県道改良により電柱に光ファイバーが点在しており、移設工事の経費に関する秩父県土整備事務所からの補償料。

問 ふるさと学習センター設立準備事業の進捗道路予備設計業務委託料900万円は道路と全体の敷地の確認が含まれているか。

答 2か所の進入口の他に建設を予定する区画を測量するもので、山の部分は入っていない。

○以上4件は、原案のとおり可決



吉田石間の沢戸集落

建設委員会

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算（第3回）所管費目

問 上町市営住宅を生活困窮者に使用させることはできないか。

答 上町の平松・花の木両市営住宅とも老朽化しており、入居者退去後に取り壊して更地にするので新たな貸し出しはしない。

問 生活困窮者等への緊急な住宅対策は。

答 資格がクリアされていれば、一般募集の他に随時募集で入居できる住宅の用意もある。

問 花の木市営住宅は新たに建替える設計もできていたが、事業中止になった理由は。

答 最適な立地環境だが、市の財政悪化と、市営住宅の戸数が他市より比較的多いので、入居者退去後に用途廃止する。

問 市報で「財政は健全だ」と言い、議会では「財政が厳しい」と言うが、オータムレビュー（事業仕分け）によって花の木市営住宅の建替え事業が中止になったのか。設計にはいくら予算がかかっていたのか。

答 オータムレビューで中止となった。設計の請負額は399万円。

問 「吉田幹線1号線の測量調査業務」の内容は。

答 場所は桜井地区小坂下、対象延長256メートル。当初予算で予定していなかった道路構造物に対して構造計算等が発生したことに対する補正を行う。

問 「土木費の人件費」について、他の人件費が減額補正されている中で、土木総務費の一般人件費が増額補正されている理由は。

答 組織替えによる人数の増加によるもの。

◆平成22年度秩父市水道事業会計補正予算（第2回）

問 「給与明細書」について、時間外手当の増額理由は。

答 夜間等の漏水事故の発生、浄水場改修に伴う排水地域の切替作業によって増額補正となった。

○以上2件は、原案のとおり可決



上町にある市営住宅

各常任委員会の報告

生活産業委員会

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第3回)所管費目

〈産業観光部の所管費目に対する質問・答弁〉

問 元気村管理費の備品購入費は冷蔵庫になっているが業務用か。何台分か。

答 老朽化したため買換。業務用を3台分。

問 観光情報発信事業のパンプレット2万部は一括購入か。配布方法は。

答 購入は1回分。道の駅や観光協会など要望のあったところへ送り、窓口や地域に置く。

問 中心市街地活性化事業の内容は。

答 全国商店街支援センターが公募した「商店街活性化支援プログラム」に応募したみやのかわ商店街振興組合が採択された。プログラム策定料1200万円のうち、5分の4が全国商店街支援センターから補助金交付される。地元負担240万円の2分の1は秩父市が補助する。現在これに基づき計画を策定している。

〈環境部の所管費目に対する質問・答弁〉

問 嶽ノ沢治山工事の場所と内容は。

答 場所は荒川小野原地内。延長20mの石積みによる流路工。

〈市民部の所管費目に対する質問・答弁〉

問 戸籍システムリリース準備業務委託料の内容は。

答 現在の戸籍システムのリース期間が満了するため、新しいシステム構築のための準備業務。

問 温水プール施設管理運営事業の修繕の内容は。

答 排水水中ポンプ2台と自動制御機器の取替え。

◆平成22年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第3回)

問 公共下水道築造債の借換えによる効果は。

答 実施の効果は7400万円余。以上2件は、原案のとおり可決

◆平成22年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)

◆平成22年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第2回)

※この2件の議案は、職員の給与改定に係るものだけであり、議案第101号と関連して賛成できない。以上の理由により反対である、との意見が出された。

○以上2件は挙手多数により可決

〈請願〉

◆環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への加入に反対する請願書

○採択

文教福祉委員会

◆秩父市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例

◆秩父市立病院等の医師を目指す医学生等に対する奨学金の貸付に関する条例の一部を改正する条例

問 今回の改正で、入学金以外の高額な納付金に対応できるか。

答 全国の私立大学医学部29校の入学時の納付金を調査した。一番低いところは232万円、一番高いところは1420万円であり、400万円以下が4校、1千万円以上が6校であった。400万円以下の大学もあるので、入学時奨学金を1千万円以内から入学金相当額と改正する。大学生奨学金を1年分まとめて貸し出すことも出来るので、入学時の納付金にも対応できると考えている。合格が決まった時点で申請してもらい、その中から市立病院等で医師として働いてもらえる人を選びたい。

◆秩父市学童保育室条例の一部を改正する条例

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第3回)

問 新規事業で中学3年生を対象にした子宮頸がんワクチンの予防接種は316人のうち30%を見込んでいるが問題ないのか。また、予防接種はいくらかかるのか。

答 子宮頸がんワクチンは任意接種であり、過去の実績からしてその分を見込んでいる。中学生はインフルエンザの予防接種を受ける時期でもあるのでその兼ね合いもあり検討した。また、3回の接種が必要であり、経費は秩父郡市医師会と調整し1回1万7千円でできることになった。今回は市の補助が合計2万1千円で個人負担が3万円となる。今回は市の単独事業として、応急的に対応するため、財政状況を考慮した結果である。来年度は国の動向を見ながら対応していく。

◆平成22年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

◆平成22年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第2回)

◆平成22年度秩父市立病院事業会計補正予算(第2回)

○以上7件は、原案のとおり可決

〈請願〉

◆政府が検討している保育の新システム案を撤回し、国と自治体が責任を負う現行保育制度の拡充を求める請願

○採択



ぶこう学童保育室現地調査の様子

特別委員会報告

議会改革特別委員会

本委員会に付託されている議会の組織・運営に係わる調査・研究の経過について報告する。

9月29日、10月14日、11月8日に委員会を開催し、「議員定数」、「一般質問のケーブルテレビ中継・インターネット中継」、「政務調査費を使用しての広報紙発行」、「一般質問」について協議した。

各会派で発行している広報紙は、政務調査費を使用して発行しているため、市民に知らせる必要がある、との意見から、「この会報の発行に係わる経費の一部は、政務調査費を使用しています。」との文言を、発行する会報の表紙の下段に表記することを決定した。

ケーブルテレビ・インターネット中継についての協議では、議会は、市民に開かれた存在であるべきであり、市民がいつでも議会中継を視聴できる環境づくりが必要である、との意見から秩父ケーブルテレビは、ごく一部の限られた地域しか放送されていないが、できるだけ多くの人に見ていただくとの精神は、みんな同じである。ケーブルテレビ会社は、一般質問の中継をさせてもらえば、映像を提供してくれるとのことであり、インターネットでの配信も実現できる目途が立ってきた。ただし、生中継に対しては、不穏当な発言・不適切な発言がそのまま電波に流

れてしまう等の障害があるので、本会議の全てを録画放映にする、との条件を付け、秩父ケーブルテレビでの放映を可能にすることが良いとの結論に達した。インターネット配信についても、平成23年度から配信できるよう取り組んでいく、との結論に達した。

また、議会はリアルタイムで発信することが望ましく、市民の方に議会本会議を開催していることを知ってもらうためにもモニターテレビの設置が出来ないか、との意見が出され、本庁舎1階、伝承館1階に設置可能であれば、モニターテレビを設置したい、との結論に達した。

一般質問のあり方については、「質問時間は現行の35分を変えないが、質問と答弁を含めて1時間で終了することを目標に努力すること」が確認され、12月定例会から試行的に実施された。

議員定数に対しては、9月議会で議員定数20人以下の削減を求め、請願が不採択となったことにより、委員会としての姿勢を12月定例会で報告するのがよいのでは、との意見があり協議したが、各種データ、各市の事例や削減の率があるのか等も十分検討する必要がある、との結論に達した。

決算審査特別委員会

去る9月定例会で、平成21年度秩父市一般会計、特別会計歳入歳出決算および、企業会計決算の認定について、計12件の決算に関する議案が上程された。その審査の重要性を考慮し、決算審査特別委員会が設置され、市議会各派から議員8人が選ばれた。9月・11月の3か月にわたって委員会を開催し、議案を審査した。

審査した中の、特記すべき主な内容について報告する。

問 有害鳥獣対策に関する事業を複数の課が行っているが、業務内容はどのように違うのか。

答 有害鳥獣対策事業として、環境立市推進課では、捕獲の許可や動物の個体数管理の部分での捕獲を行っており、農政課では、田畑を守るため、電気柵や防護柵などを使って防衛している。森づくり課では、猟友会に委託して捕獲してもらっている。

※有害鳥獣対策事業については、複数の課に業務を分けて行うのではなく、1つの課で業務をまとめ、行う方が、効率的でわかりやすいと思う、との意見が出された。

問 秩父まつり会館の状況は。

答 平成21年度の入館者は65,860人で対前年度比約6,900人の減少であり、約152万8

千円の赤字である。一番多いときは、入館者が約16万人であった。今後、(有)ちちぶ観光機構と一緒に入館者が増えるように協議していく。

※秩父まつり会館は、秩父地域外の観光客の方に、たくさん来ていただけるようにしなければいけない。観光客が増える方法をよく検討してもらいたい、との意見が出された。

問 荒川東小学校の学童保育室は、あまりいい環境ではないと思うが、今後改修を考えているのか。

答 小学校の校舎の建築に伴い、校舎の裏側に学童保育室を設置したのだが、スペース的な限界がある中での設計など、当初から難しい部分があったのは事実である。設計時点で、小さい子ども達がいかに使いやすいかということを基本に設計したため、その分、指導員に不便もあるかと思う。子どもが活動している部屋とおやつを準備する部屋の境がないなど、衛生面等の問題もあるが、指導員に子どもの状況を見ながら工夫をして使っていたらいい状況である。環境的に完全な施設でないのはご指摘のとおりであり、予算の許す範囲で、子どもの安全面、衛生面を優先しつつ改良させていきたいと思っている。

特別委員会報告

市役所本庁舎及び 市民会館建替え 調査特別委員会

平成22年11月30日に「(仮称)ふるさと学習センター建設懇話会」から久喜市長へ「提言書」が提出された事が翌日の新聞紙上に取り上げられ、そこで初めて市民の間で大きな関心事となった。この提言書では市役所の位置に関して触れているが、市役所の位置決定は地方自治法第4条に「議会において出席議員の3分の2以上の同意がなければならぬ」と規定されているように、最も重要とされる案件の一つで、本市のまちづくりや地域経済にも大きな影響を及ぼす問題である。

市民の負託を受けた議会として、より詳細な財政状況、両施設の耐震性能、建設候補地の状況等を慎重に精査し、執行部と共に論議を重ねていくことを目的に本委員会を設置した。

また、平成17年、18年に行った市役所本庁舎及び市民会館の耐震基準診断で「両施設とも震度5強の地震の振動及び衝撃に対して、倒壊・崩壊の危険性が高い」との診断結果が出された事で、災害時の防災拠点としての機能も考慮し、早急な「耐震補強」や「建替え」も視野に入れた協議をして、議会としての方針を当局に提出する予定である。

今後も、本委員会では、この問題について継続して協議していく。

付議事件

『市役所本庁舎及び市民会館等建設にかかわる諸問題について』

○現市役所本庁舎、市民会館の現状について

○市役所本庁舎の機能について

○市役所本庁舎及び市民会館等建設位置と周辺対策について

○市役所本庁舎及び市民会館等建設事業に係わる経費について

○その他

審査の経過

第1回 平成22年12月15日

第2回 平成22年12月21日

第3回 平成22年12月24日

第4回 平成23年1月6日

※1月6日、旧秩父セメント第1プラント跡地全体が、有効活用される様に用地交渉するよう、市長に申し入れを行った。

第5回 平成23年1月12日

第6回 平成23年1月18日

市役所本庁舎及び市民会館 建替え調査特別委員会委員

委員長 荒船 功
副委員長 新井 豪
委員 金崎 昌之
富田 俊和
逸見 英昭
出浦 章恵
福井 貴代
浅海 忠

水道施設の整備

問 橋立浄水場の改修と水道会計への影響について。

答 当浄水場の課題は原水の取水をしている河川の水質悪化で、橋立川は、台風等の大雨時の急激な濁りの発生。浦山川は上流のダム湖での河川水の滞留による藻類等の生物発生と慢性的な濁りである。これらの課題に対処するため平成23・24年度で、現在2系統ある緩速ろ過用沈殿池のうち1系統を急速ろ過用沈殿池に改修し、25・26年度で急速ろ過用過池を新設する。この工事が完了すると橋立浄水場は、その浄水能力に増減はないが、浄水方法が緩速ろ過・急速ろ過の比率6対4が逆転し4対6となる。

この時点までの工事費は概ね20億円となる。

チャレンジ80プラン達成の手順

問 自治体財政の尺度として、經常収支比率がある。秩父市は85、87%で推移しているが、目標の80%に近づける手順について。

答 目標の80%に向けて趣旨を職員に徹底し、努力をしているが、

市民クラブ 荒船 功

税収が伸び悩む中、国民健康保険などの特別会計の繰出金や各種扶助費などが予想を上回るペースで増加している等の要因で、目標達成できないが、県平均は下回っている。今後は、定員適正化計画による職員人件費の削減、補助金の見直し、税や各種公共料金等の収納率向上など地道な努力を積み重ねて、目標の經常収支比率80%を目指していきたい。



橋立浄水場